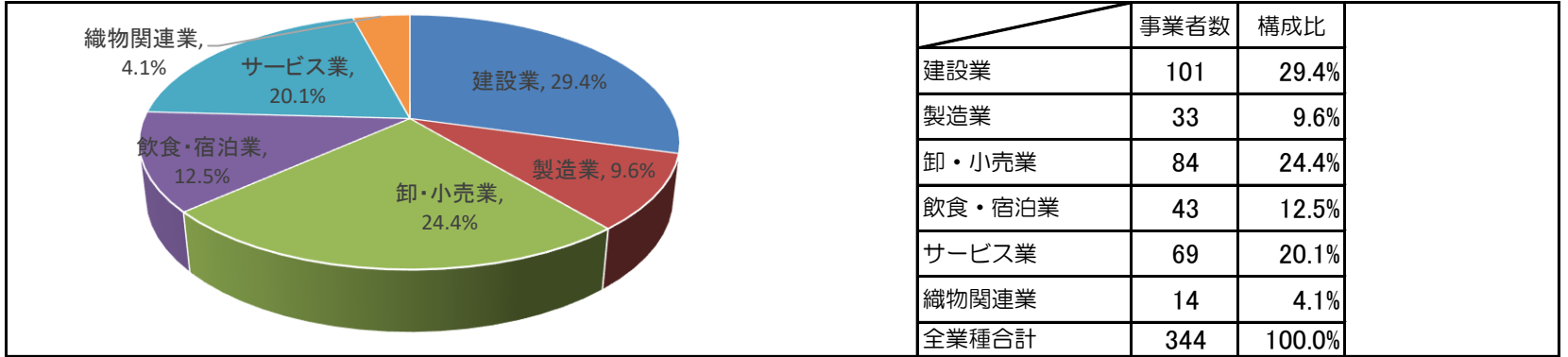


十日町市地域 企業景況調査 第2四半期報告書 (R5.7.1~R5.9.30) 会議所地区

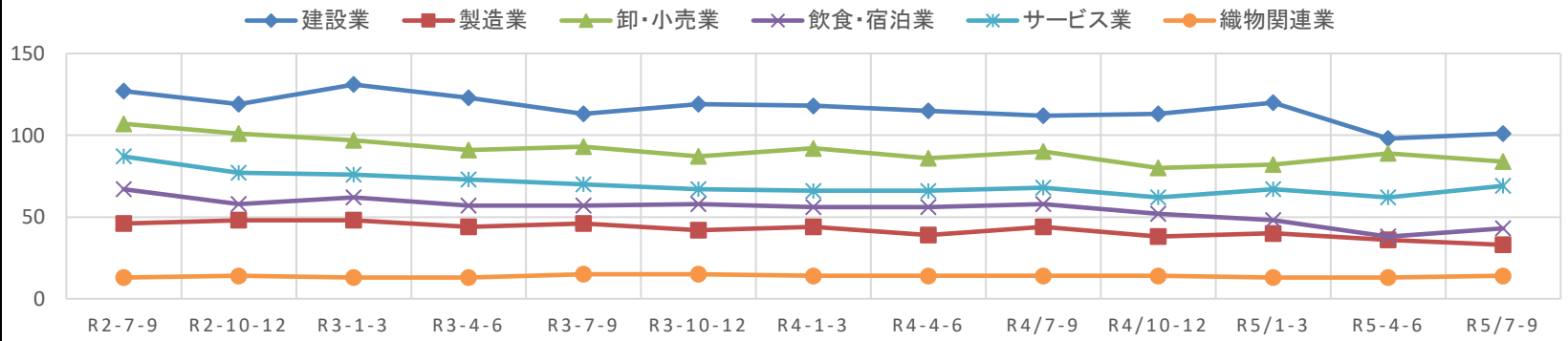
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

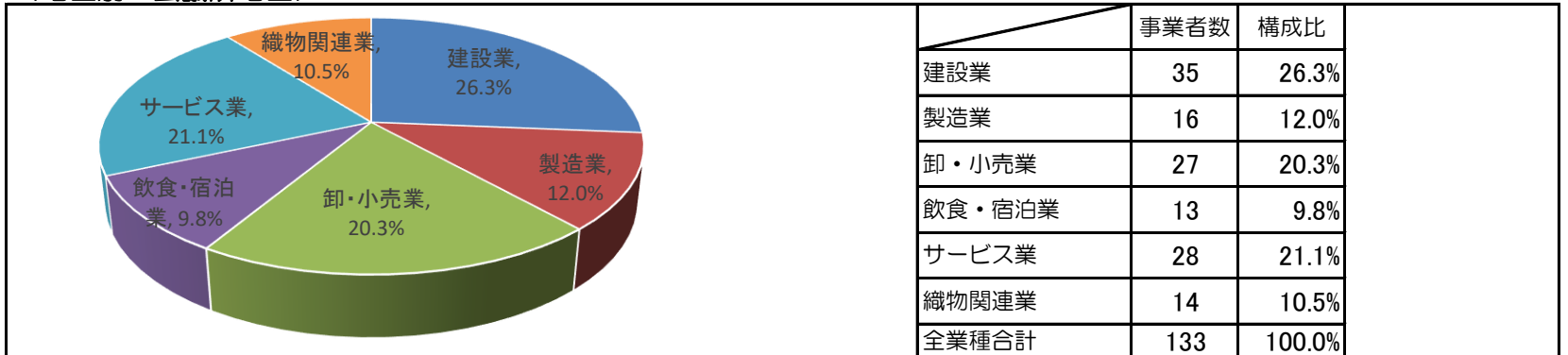


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

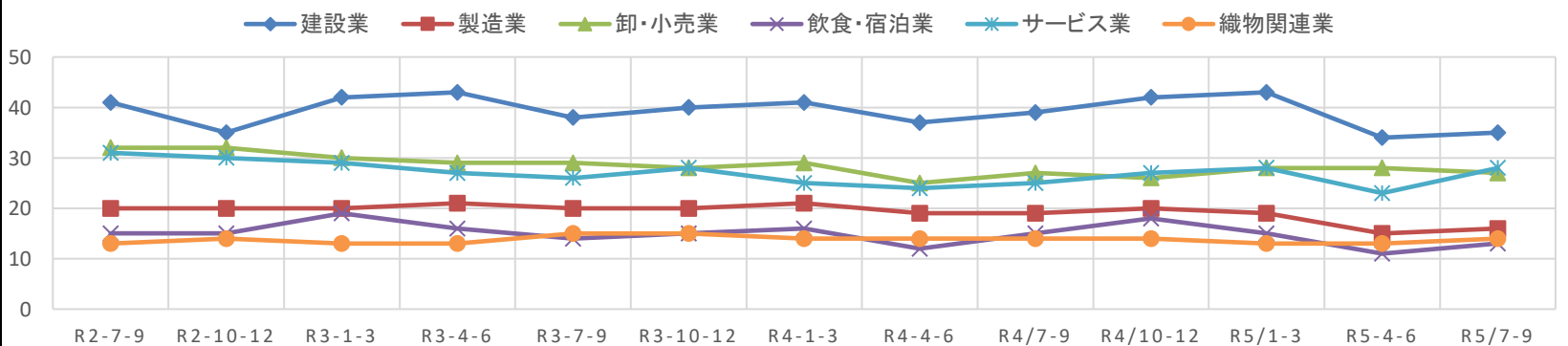


<コメント> 今回の調査は、十日町市内344事業所から回答を得られ、前回調査よりも8事業所増加している。飲食・宿泊業以外において増加となった。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



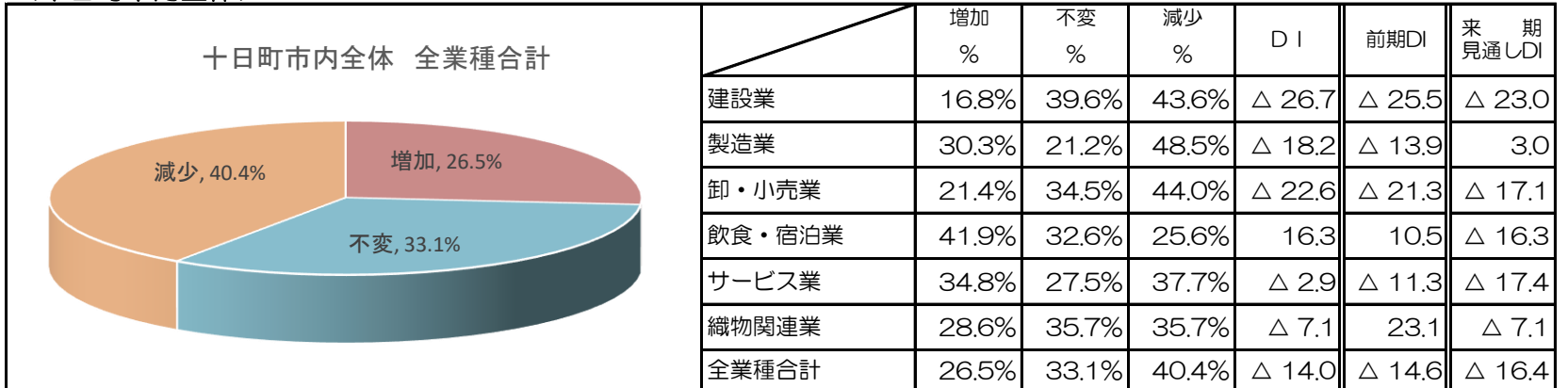
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、配布183事業所のうち133事業所からの回答があり、回収率は72.7%と前回に比べ4.9%増加した(前回: 回答事業所124事業所、回収率67.8%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

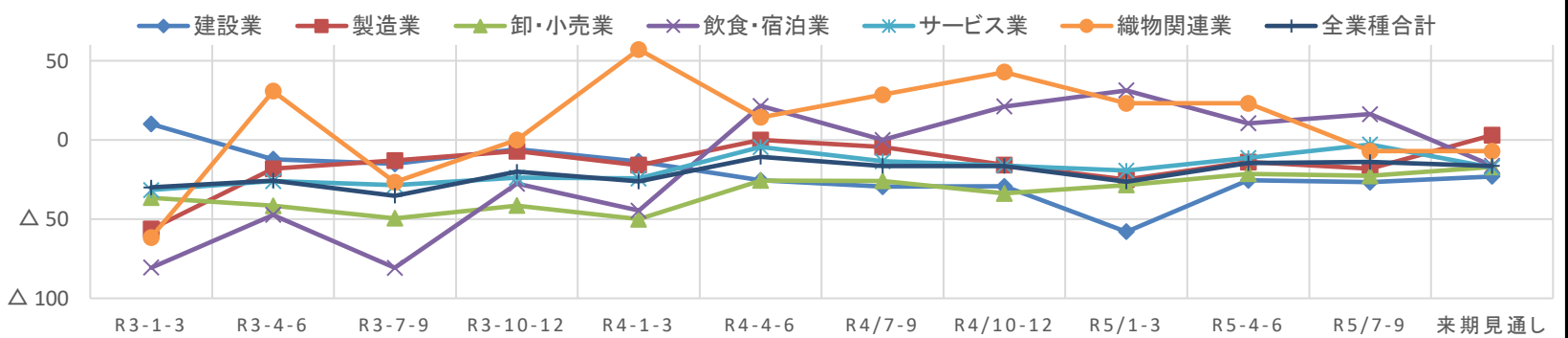
1. 売上について

- 7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

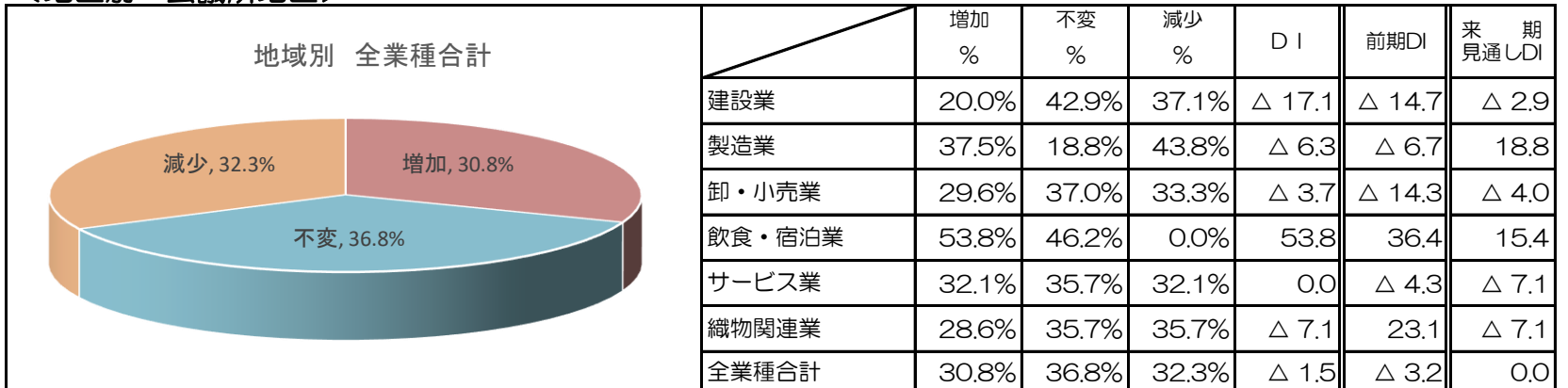


業種別売上の推移（市内全体）

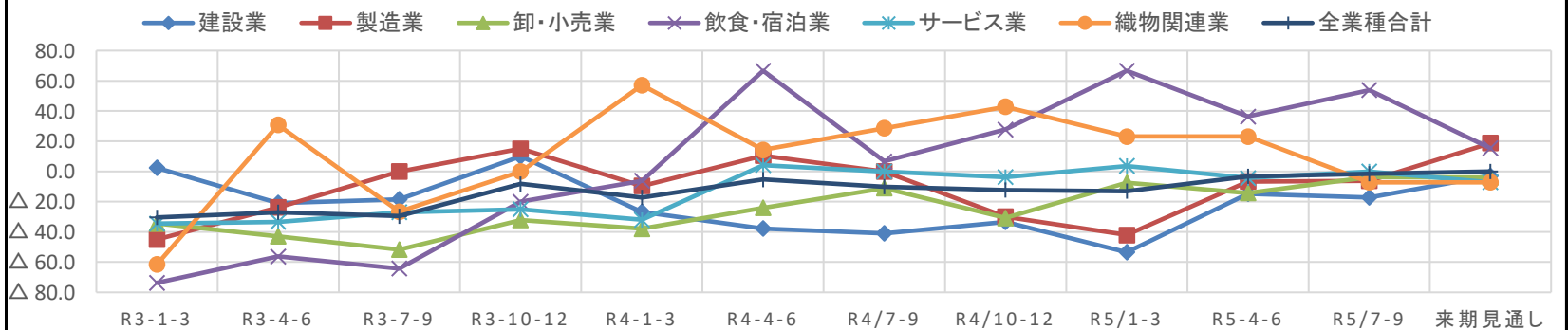


<コメント>十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△14.0ポイントで、前回調査時よりも0.6ポイント上昇となっている。飲食・宿泊業、サービス業でDI値が上昇した。来期見通しでは飲食・宿泊業、サービス業以外の業種で上昇の予想となっているが、全業種DI値については減少する見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移（地区別）

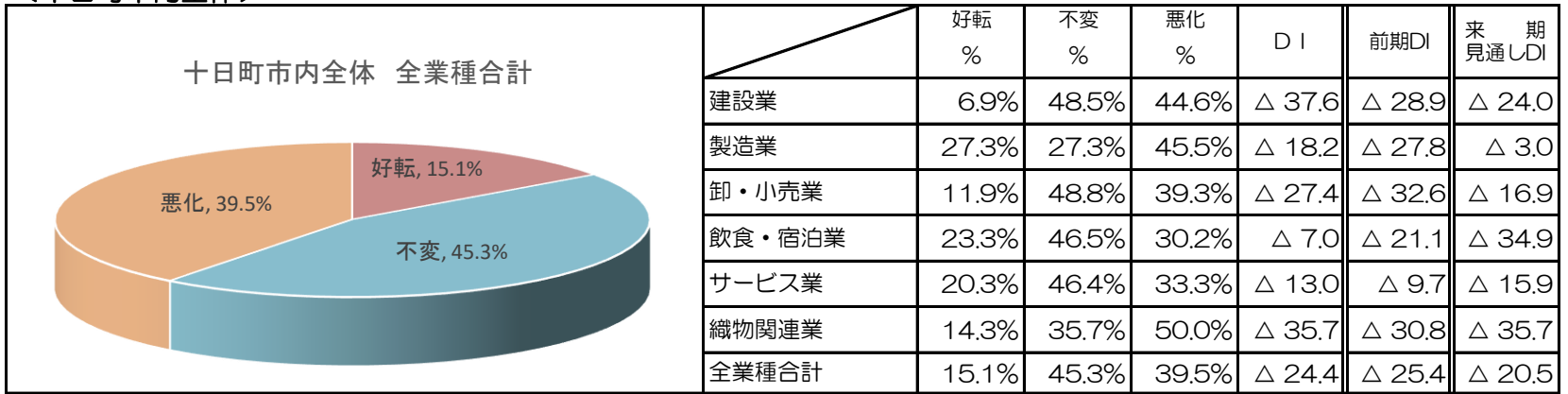


<コメント>会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△1.5ポイントで、前回調査時よりも1.7ポイント増加した。業種別に見ると、建設業と織物関連業が減少したが、その他の業種は増加している。来期見通しでは、織物関連業は横ばい、建設業と製造業で増加しているが、その他の業種では減少の見通し、全業種DI値においては増加の見通しである。

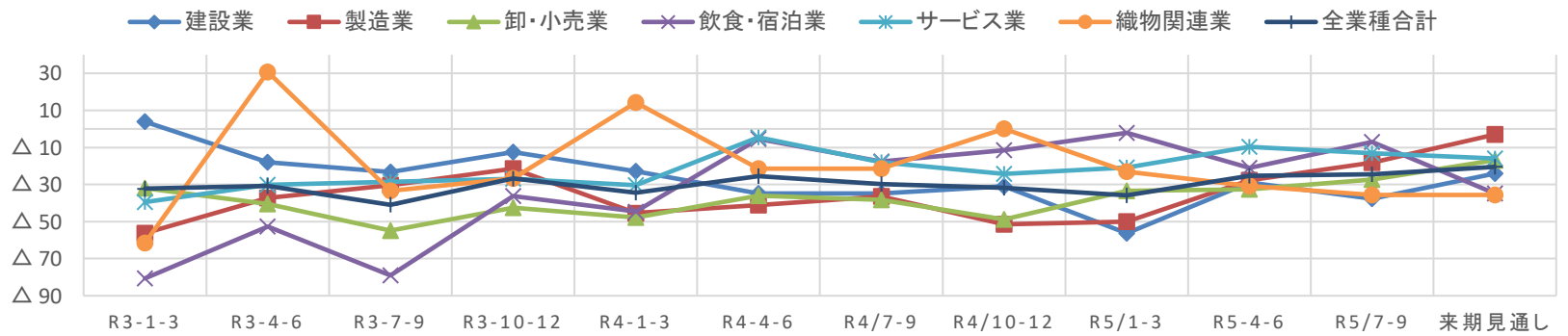
2. 採算について

・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

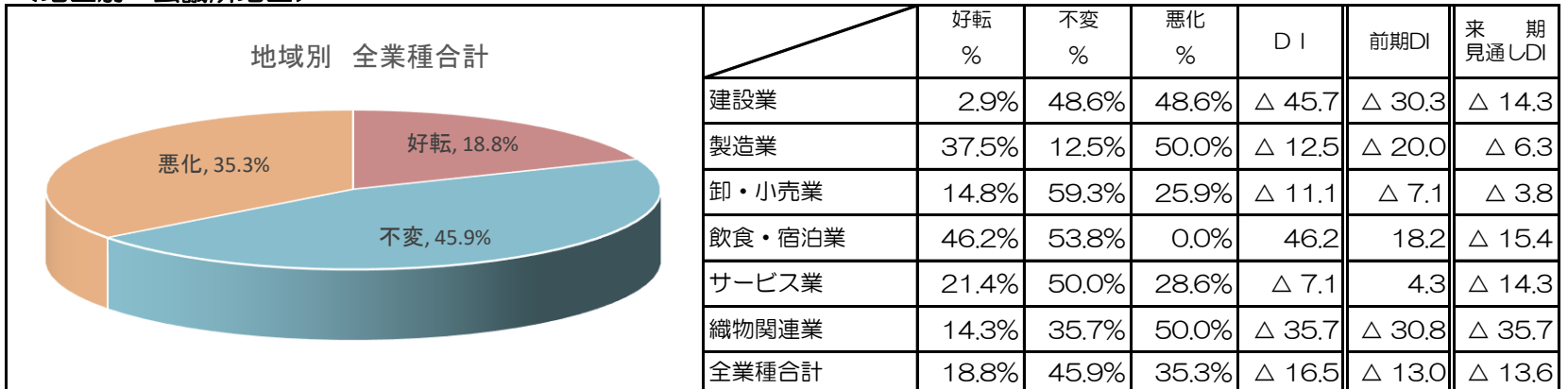


業種別採算の推移(市内全体)

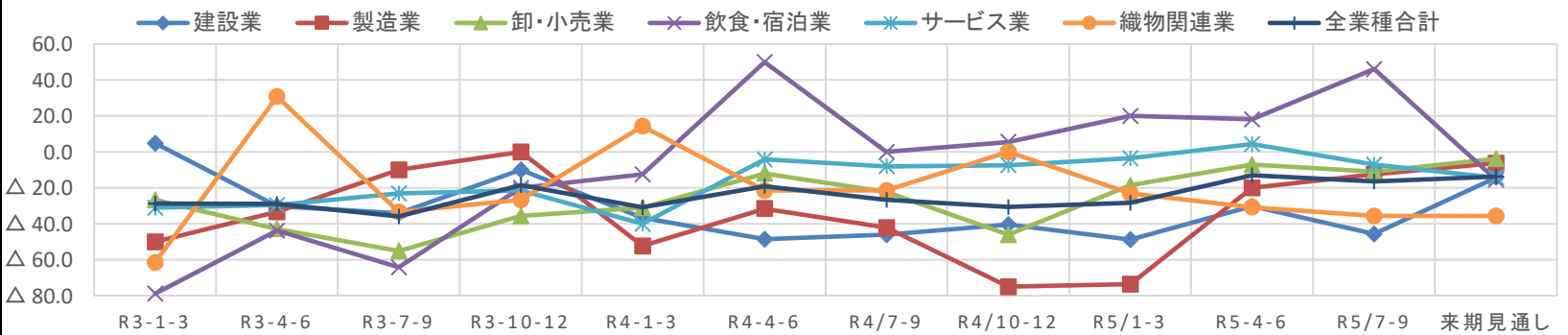


<コメント>十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△24.4ポイントで、前回調査より1.0ポイント好転している。建設業・サービス業以外の業種で好転が大きく、全体の数値を押し上げた。来期見通しでは、飲食・宿泊業、サービス業以外の業種において好転予測となり、全業種DI値においても好転する見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別採算の推移(地区別)

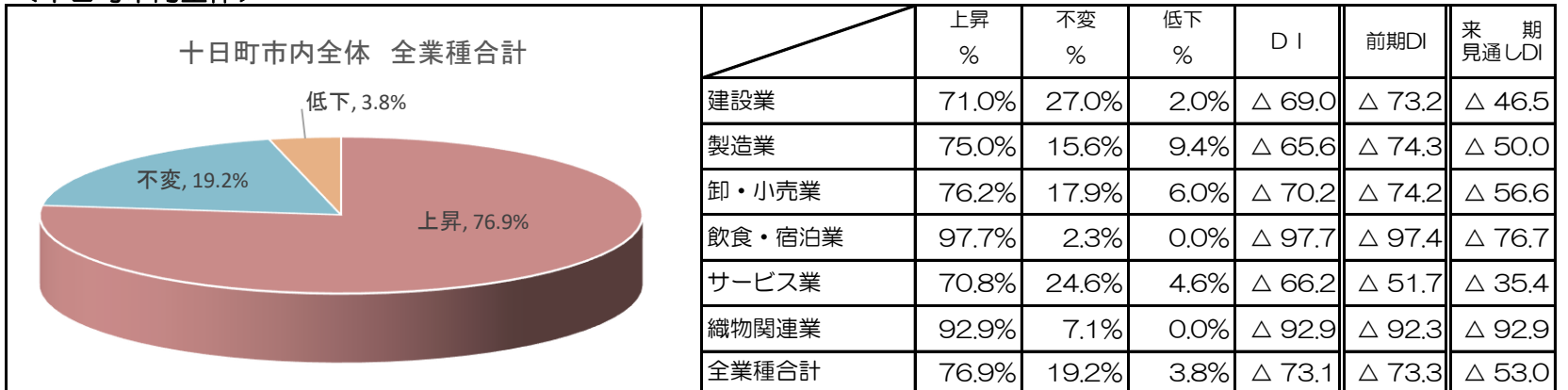


<コメント>会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△16.5ポイントで、前回調査時よりも3.5ポイント悪化している。業種別には製造業と飲食・宿泊業が好転しているが、その他の業種は悪化した。来期見通しでは、織物関連業は横ばい、飲食・宿泊業とサービス業が悪化予測となっているが、その他は好転予測で、全業種DI値においてもわずかに好転の見通しとなっている。

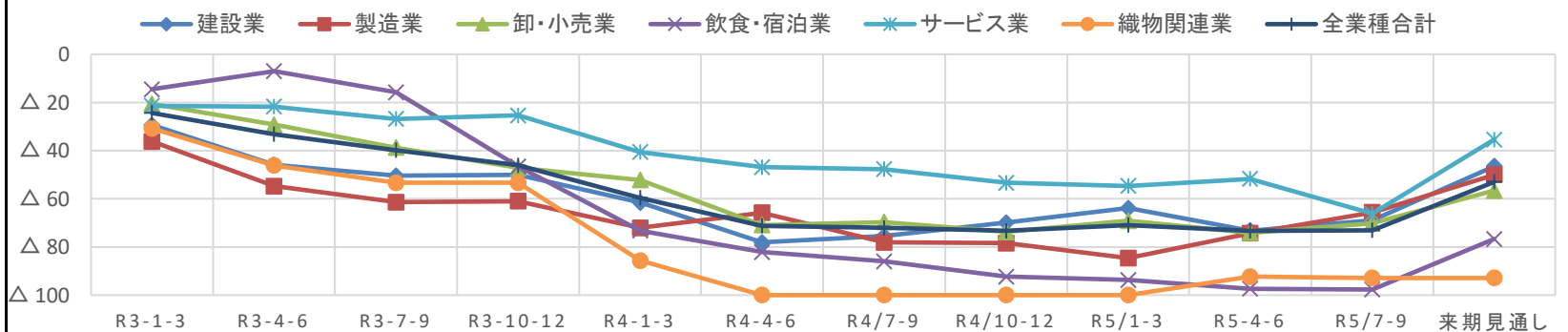
### 3. 仕入単価について

- ・7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <十日町市内全体>

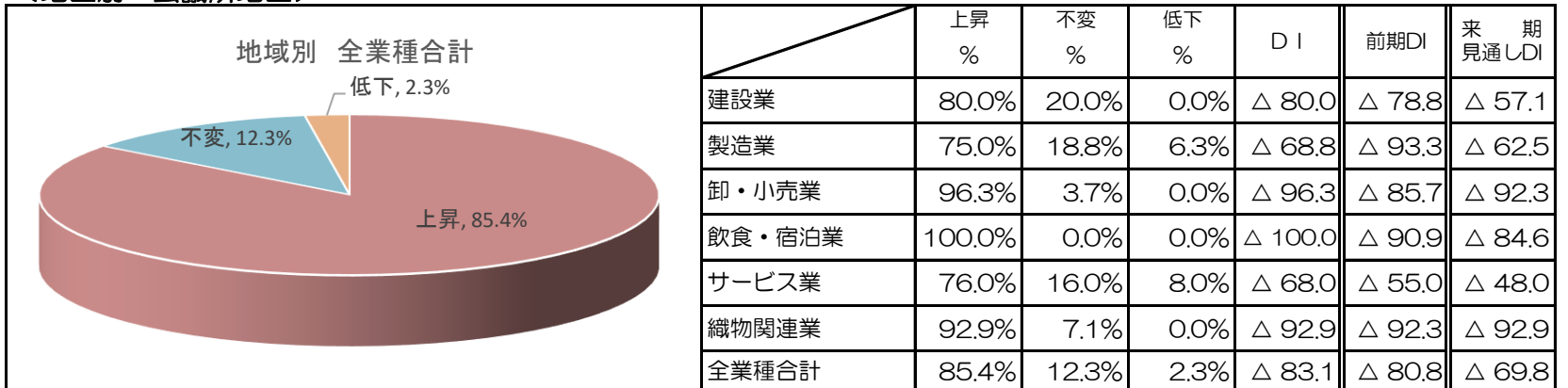


#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)

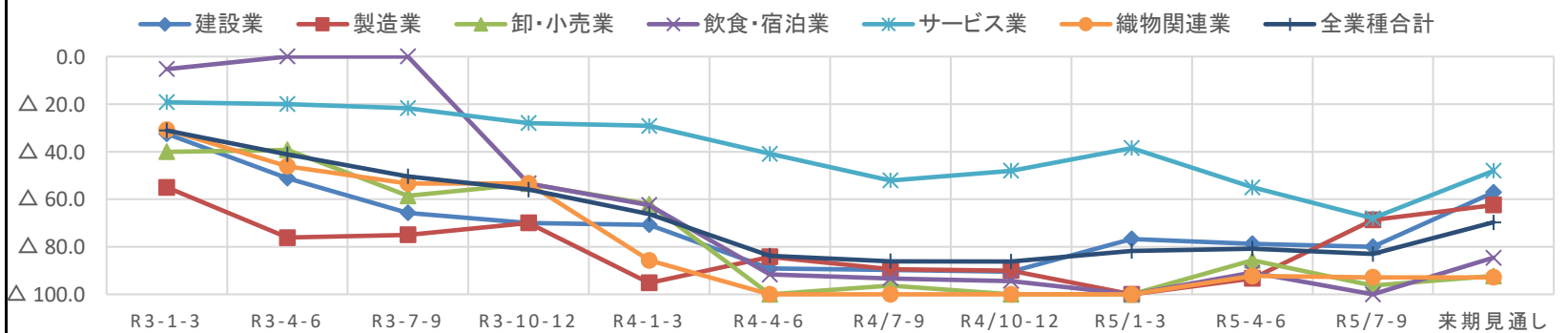


<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△73.1ポイントで、前回調査時よりも0.2ポイントの仕入単価低下が見受けられる。飲食・宿泊業、サービス業において仕入単価が上昇している。来期見通しは、全業種で今期よりも仕入単価が低下する見通しであるが、原料、燃料等のコスト面について、以前として注視する必要がある。

#### <地区別：会議所地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)

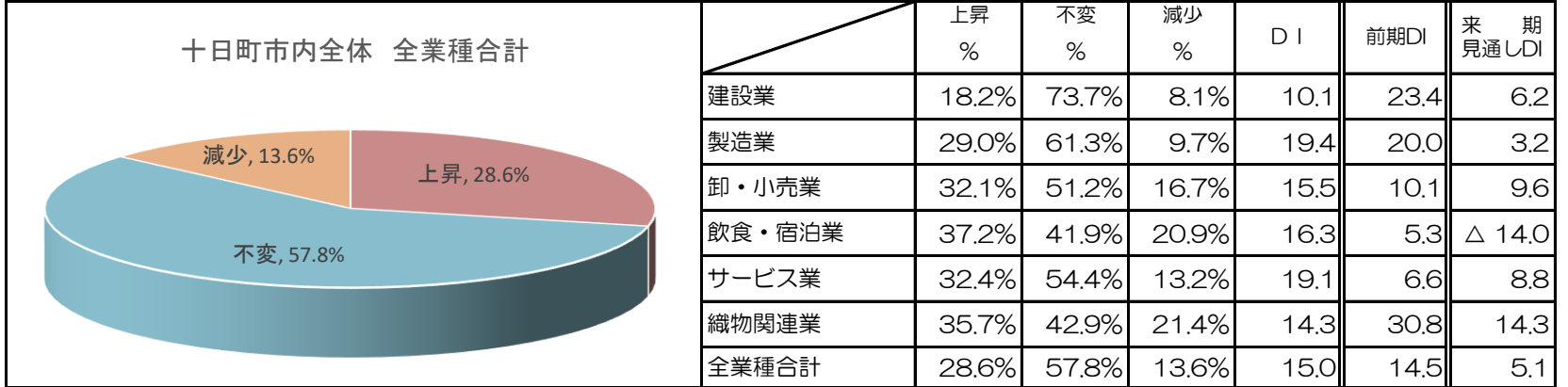


<コメント>会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△83.1ポイントで、前回調査時よりも2.3ポイント仕入単価が上昇しており、引き続き原材料等の高騰の影響が続いている。製造業のみが仕入単価低下となったが、その他の業種は仕入単価上昇と回答している。来期見通しでは織物関連業は横ばいの予測だが、その他の業種は仕入単価低下の予測となり、全業種DI値でも仕入単価低下の見通しとなっている。

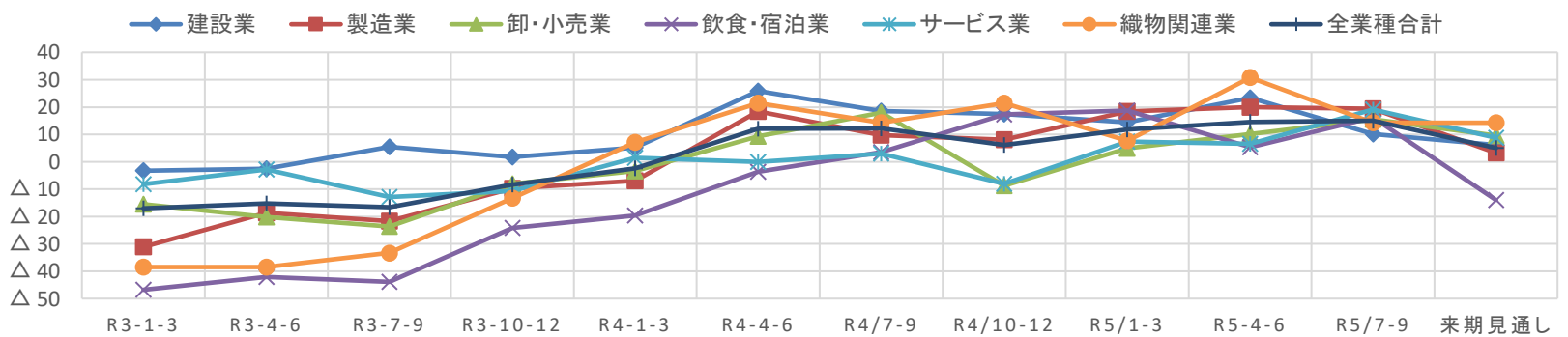
4. 販売（客）単価について

・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

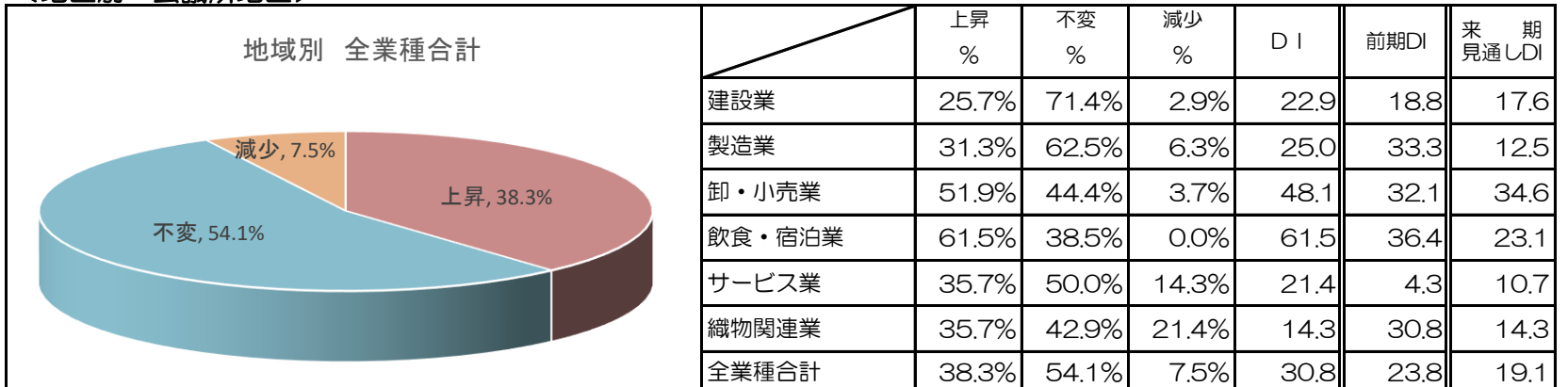


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

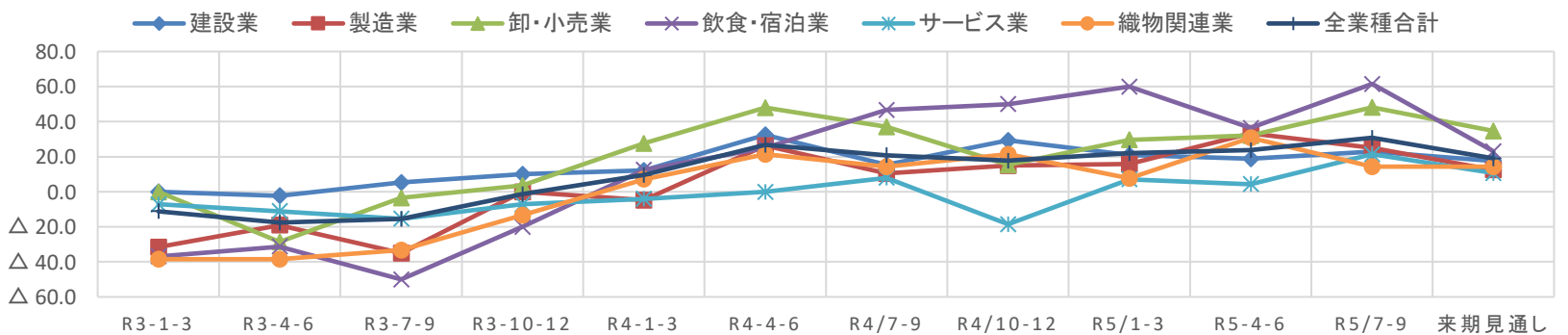


<コメント>十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で15.0ポイント、前回調査時より0.5ポイント上昇している。建設業、製造業、織物関連業以外の業種で上昇という形となった。来期に関しては、全業種で低下予測となっている。

<地区別：会議所地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

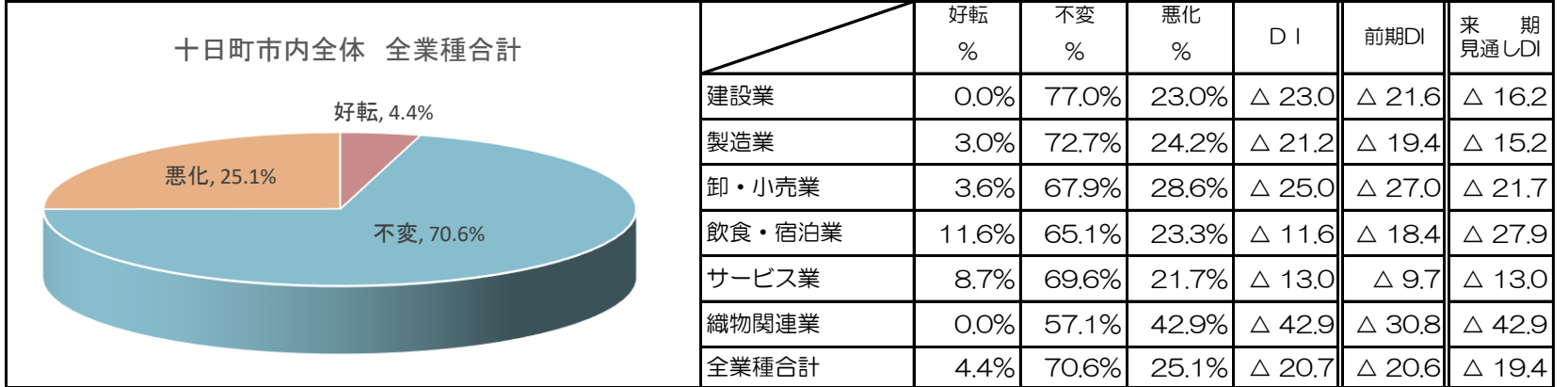


<コメント>会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値が30.8ポイントで、前回調査時よりも7.0ポイント上昇している。業種別に見ると、製造業と織物関連業は低下したが、その他の業種は上昇している。来期見通しでは織物関連業が横ばいの予測となったが、その他の業種は低下の見通しとなっており、全業種DI値においても低下する見通しである。

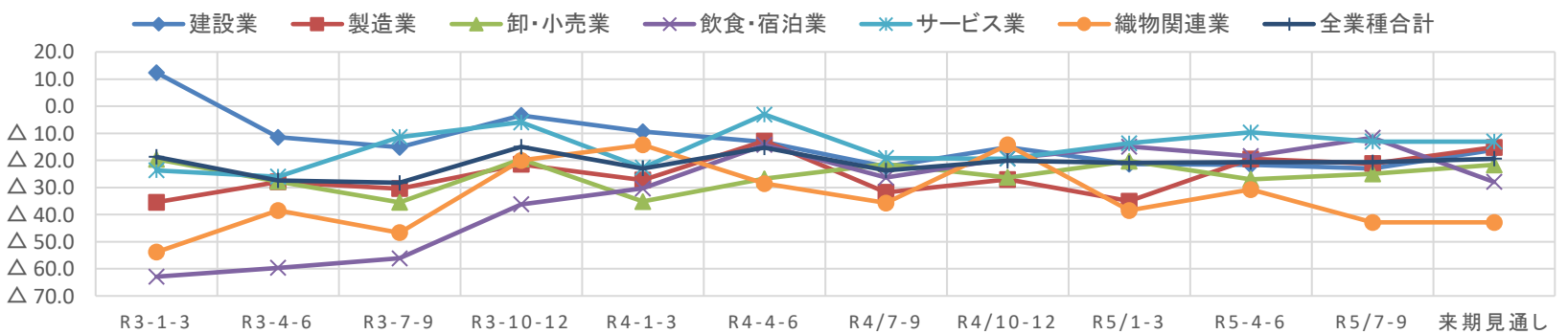
5. 資金繰りについて

・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

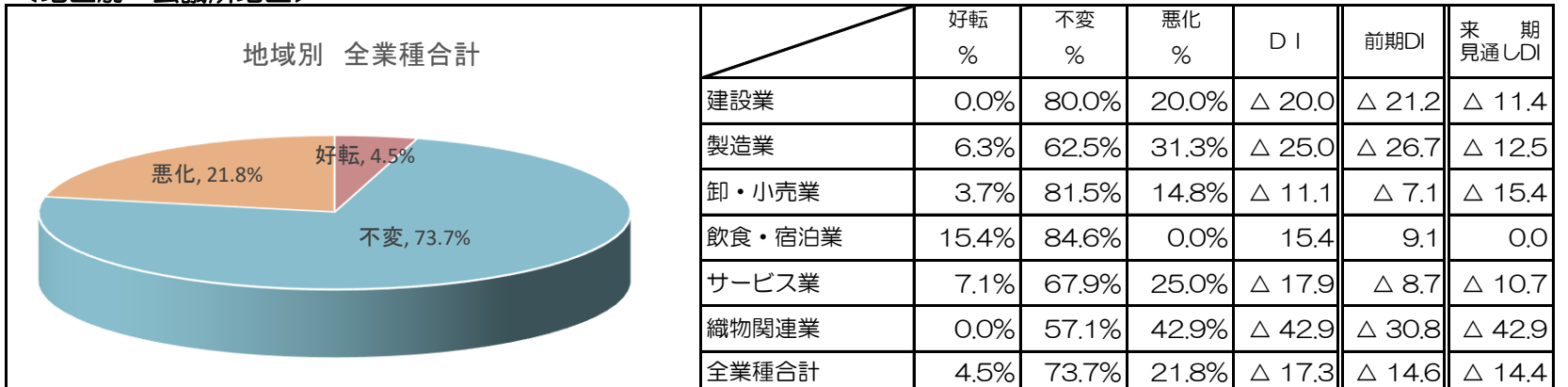


業種別資金繰りの推移(市内全体)

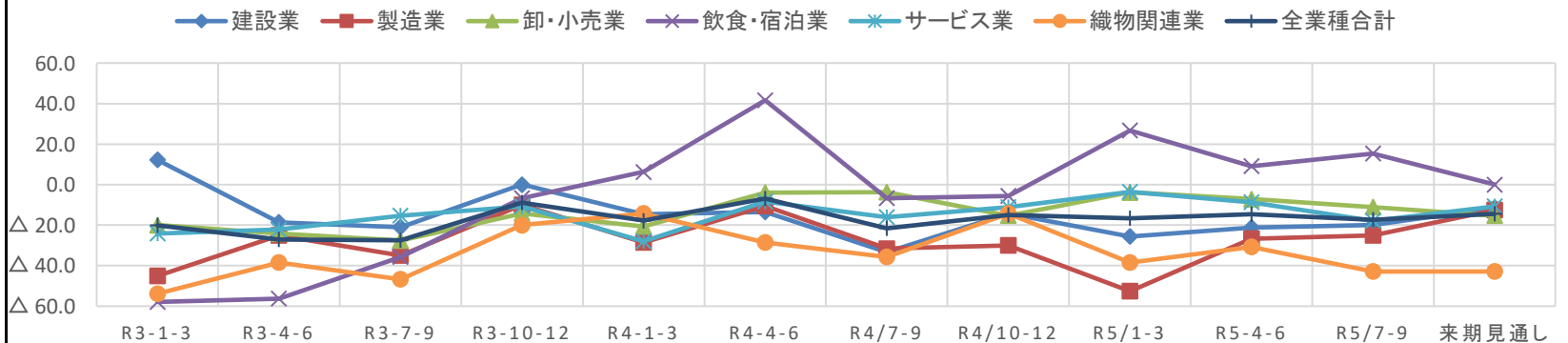


<コメント>十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△20.7ポイントで、前回調査時より0.1ポイント悪化している。概ね前回調査と同程度の数値となった。来期見通しとしては、飲食・宿泊業以外の業種で好転もしくは不変予測となり、全業種DI値についても改善する見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

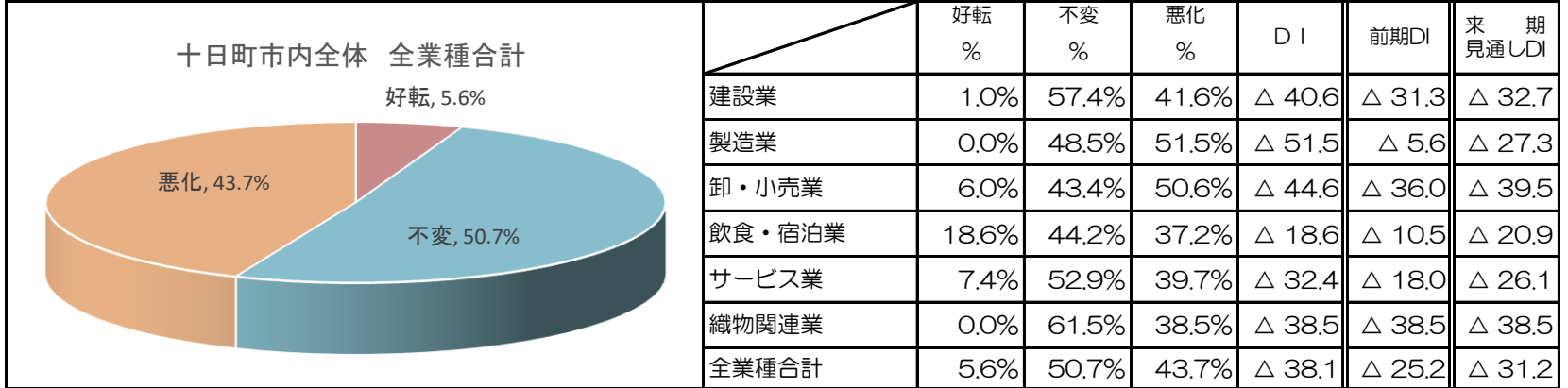


<コメント>会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△17.3ポイントで、前回調査時よりも2.7ポイント悪化している。業種別に見ると、建設業、製造業、飲食・宿泊業で好転しているが、その他の業種は悪化となった。来期見通しでは卸・小売業と飲食・宿泊業が悪化予測、織物関連業が横ばいの予測、その他の業種は好転の見通しとなっており、全業種DI値においては好転の見通しである。

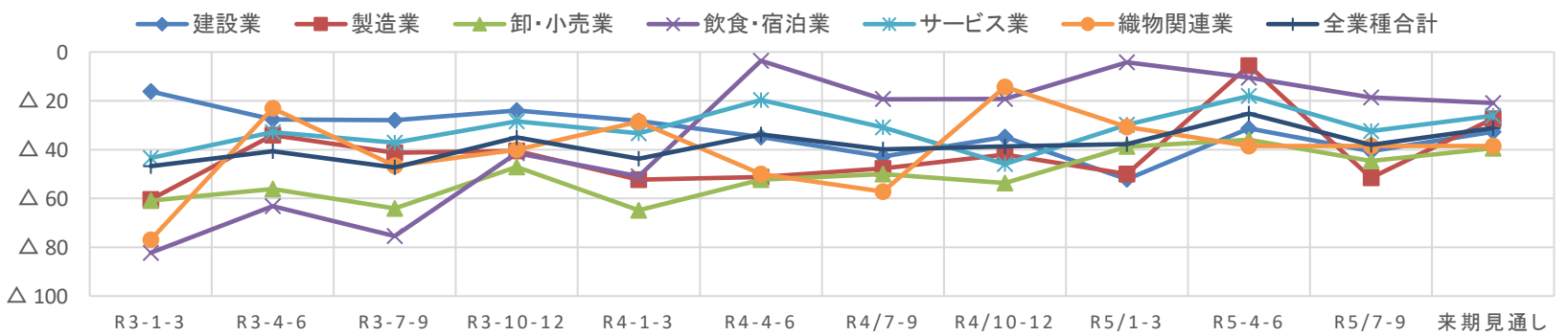
6. 景況判断について

- ・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

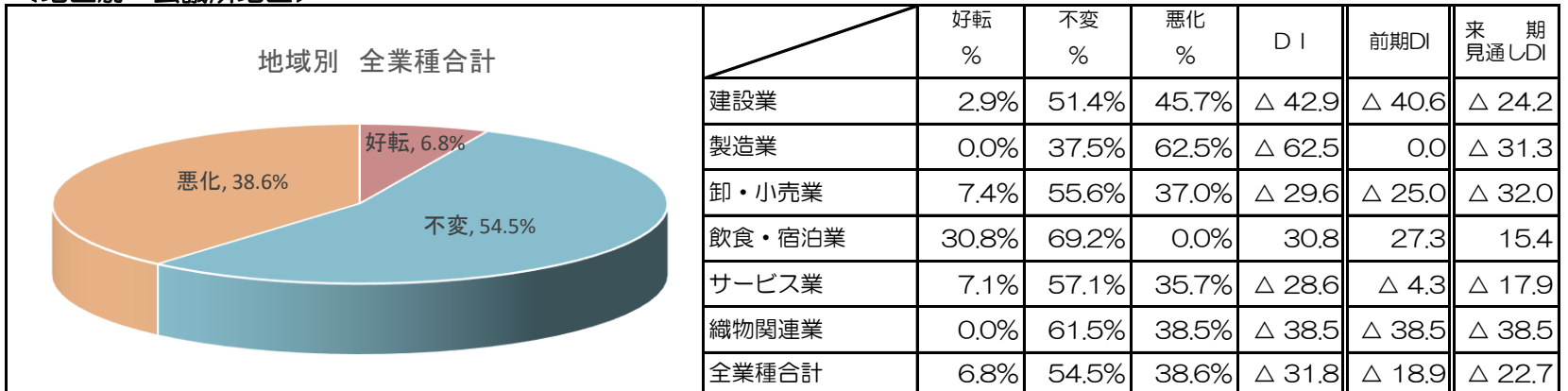


業種別景況判断の推移(市内全体)

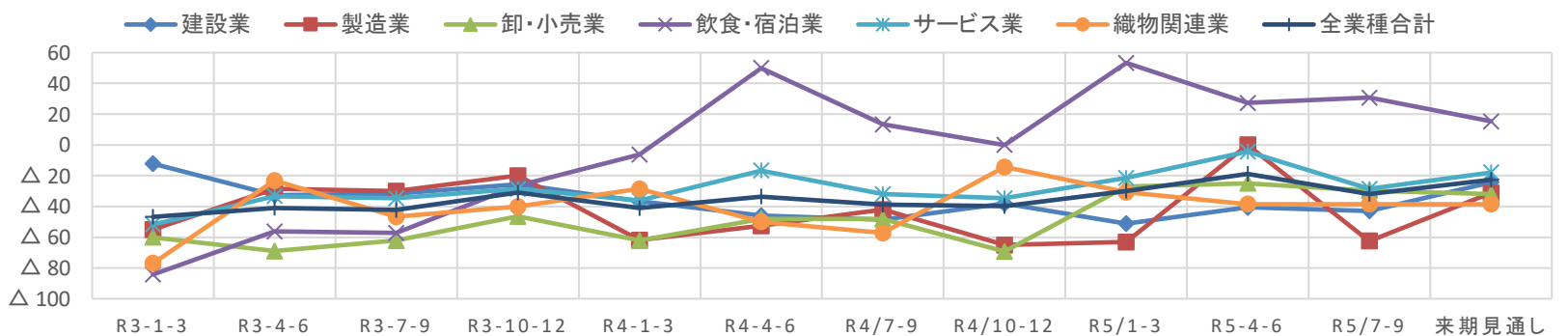


<コメント>十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△38.1ポイントで、前回調査時よりも12.9ポイント悪化している。全業種において景況感については、依然として厳しい見方となっている。来期見通しは、飲食・宿泊業以外の業種で好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しである。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

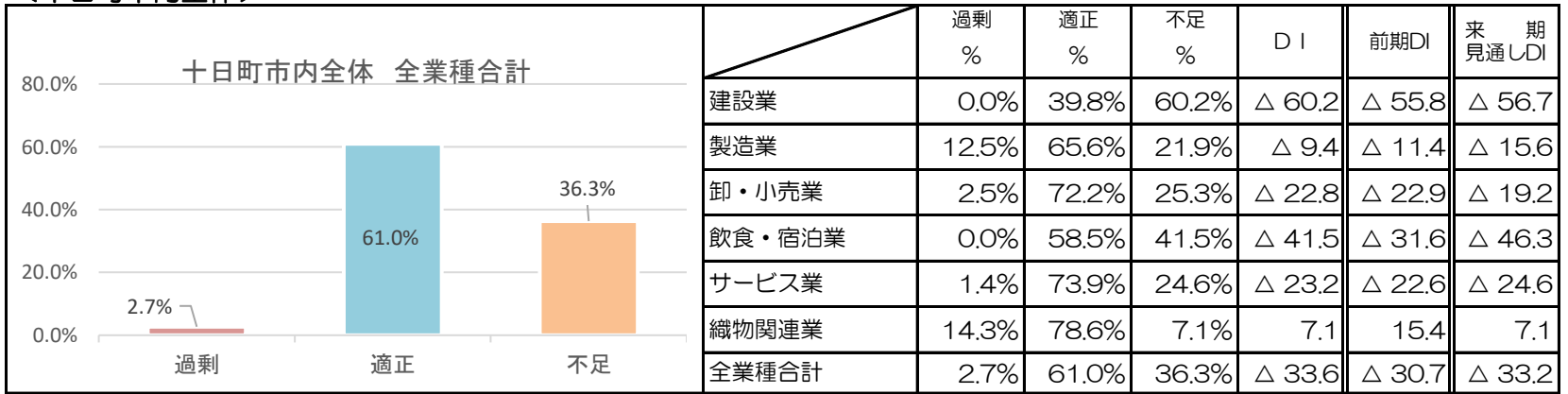


<コメント>会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△31.8ポイントで、前回調査時よりも12.9ポイント悪化している。業種別に見ると、飲食・宿泊業が好転、織物関連業が横ばいであるが、その他の業種は悪化となった。来期見通しでは織物関連業が横ばい、卸・小売業と飲食・宿泊業は悪化予測だが、その他の業種は好転の見通しとなっており、全業種DI値においても好転の見通しである。

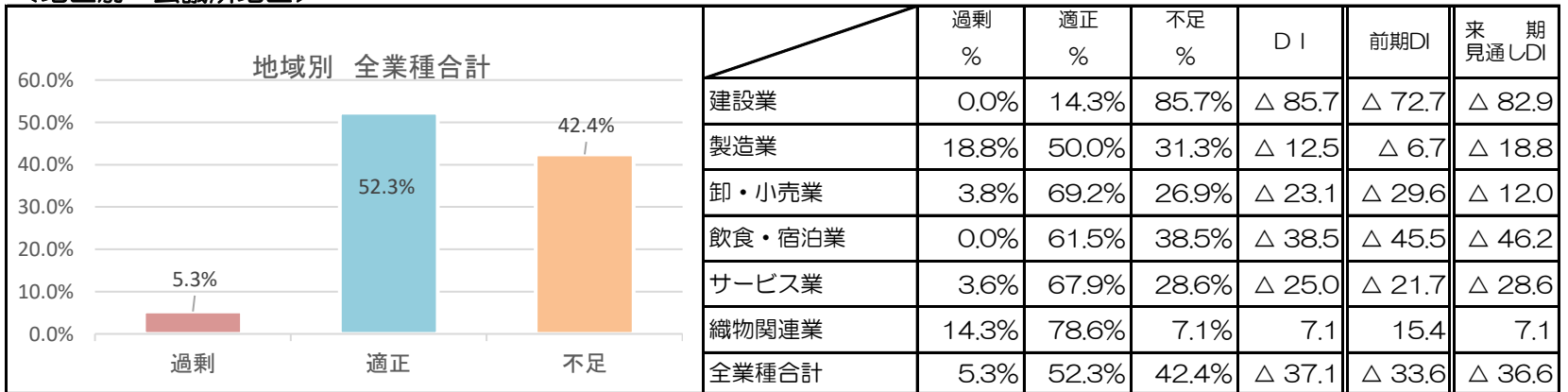
7. 従業員数について

・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



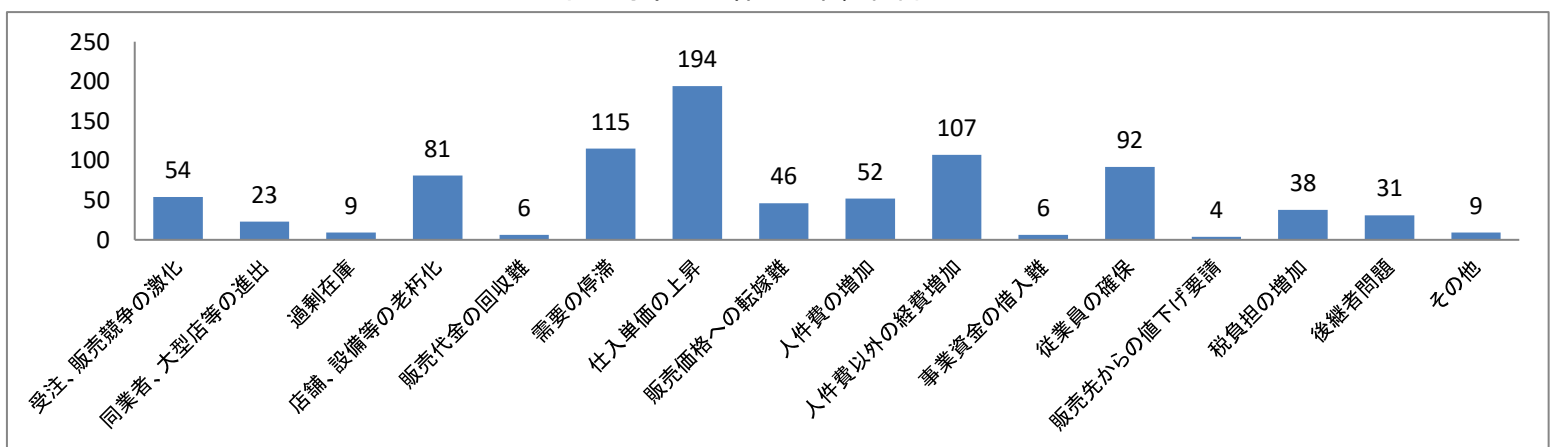
<地区別：会議所地区>



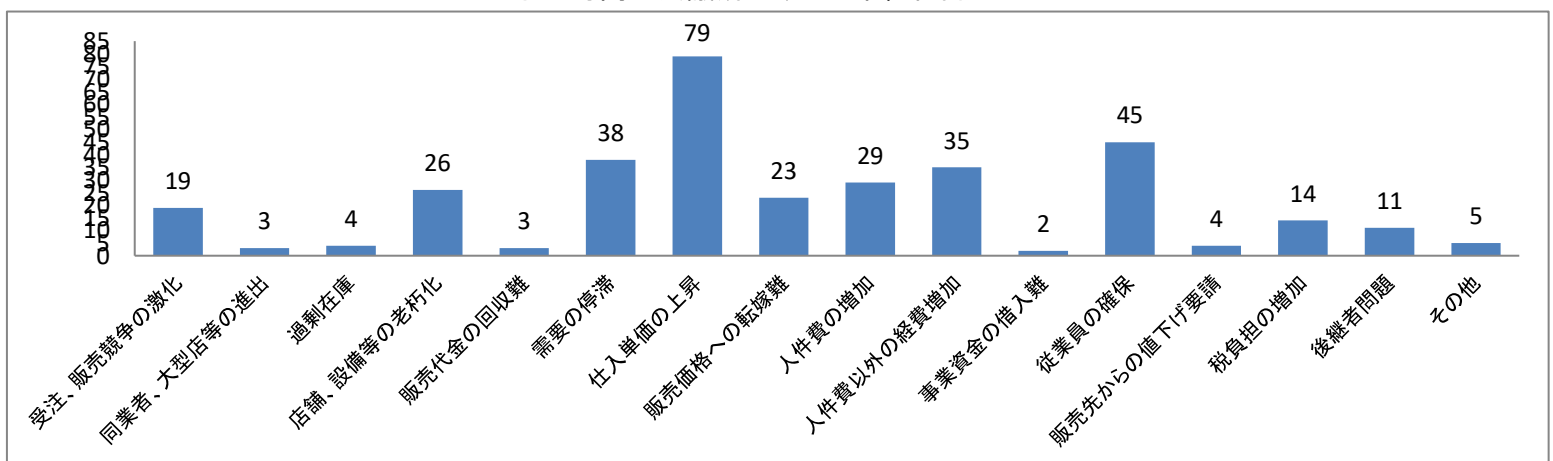
<コメント>今期の従業員数(雇用動向)は、前回調査時より過剰回答が0.2%増加、適正回答が3.4%減少、不足回答が3.2%増加している。会議所地区の状況は、全業種合計では42.4%が不足と回答しており、特に建設業においては85.7%と依然として不足の回答が多くなっている。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：7月～9月

十日町市内全体 全業種合計



十日町商工会議所地域 全業種合計



<コメント>今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「人件費以外の経費増加」となり、上位2項目に変化はなかった。会議所地区の経営上の問題は、1位「仕入単価の上昇」、2位「従業員の確保」、3位「需要の停滞」となった。



## 9. 地区の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

### 【建設業】

今期の建設業の状況は、販売(客)単価と資金繰りが好転し、その他は悪化した。来期見通しにおいては、販売(客)単価は減少の見通しとなったがその他は好転の見通し。経営上の問題点は、「従業員の確保」と「仕入単価の上昇」が多く回答されており、依然として従業員の確保が課題となっている。

### 【製造業】

今期の製造業の状況は、販売(客)単価と景況判断が悪化し、その他は好転となった。来期見通しにおいては、販売(客)単価を除くすべての項目が好転の予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「人件費の増加」の順に多く回答されている。

### 【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は、売上と販売(客)単価が好転し、その他の項目は悪化した。中でも仕入単価はほとんどが上昇と回答している。来期見通しにおいては採算と仕入単価が好転予測だが、その他は悪化の予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「店舗、設備等の老朽化」「需要の停滞」が多く回答されている。

### 【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、仕入単価を以外の全ての項目が好転となった。来期見通しにおいては仕入単価は低下予測だが、その他の項目は悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「販売価格への転嫁難」「人件費以外の経費増加」が多く回答されている。

### 【サービス業】

今期のサービス業の状況は、売上と販売(客)単価は好転したが、その他の項目は悪化した。来期見通しにおいては売上、採算、販売(客)単価で悪化予測、その他は好転の予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「税負担の増加」の順に多く回答されている。

### 【織物関連業】

今期の織物関連業の状況は、景況判断が横ばいの他は、全ての項目が悪化した。来期においては、全ての項目で横ばいの見通しである。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「仕入価格への転嫁難」が多く回答されている。